

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問一、文中の傍線 ①～⑤について、カタカナを漢字に、漢字を平かなに改めよ。

問二、文中の傍線 A、B、C の言葉の意味を、文中よりそれぞれ漢字二字で抜き出し答えよ。

問三、文中の I ～ III に入る最も適切な語句を次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

ア 人間性    イ 親和性    ウ 優位性    エ 安定性    オ 習慣性

問四、文中の傍線 1 とは何と何を比較しているのか。本文の内容に則しそれぞれ漢字八字で答えよ。

問五、文中の傍線 2 のように筆者が考える理由について、文中より八十字以内でその理由を抜き出し、句読点を除き五十字以内にまとめよ。

問六、文中の傍線 3 とは何を指すのか。文中より五字で抜き出し答えよ。

問七、次の段落はどの段落の前に入るべきか。その段落の最初の五字を答えよ。

「次の段落」の文章については、著作権の関係から掲載いたしません。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(1)～(14)は段落番号を示す)

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問一、文中の傍線 ①～⑤について、カタカナを漢字に、漢字を平がなに改めよ。

問二、次の一文は、どの段落の冒頭に置くのが最も適切か。①から⑧の段落番号で答えよ。

「次の一文」につきましては、著作権の関係から掲載いたしません。

問三、文中のⅠⅡⅢに入る最も適切な語句を次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

ア しかし イ さて ウ そして エ もし オ だから

問四、文中の傍線 Aの「それ」とは何の事か。文中から抜き出し、最初と最後の三字を答えよ。(句読点は除く)

問五、文中の傍線 Bと筆者が感じるのはなぜか、文中の言葉を用いて四十字以内で答えよ。

問六、文中の傍線 Cの「それ」の差す言葉を、文中より八字で抜き出し答えよ。

問七、文中の傍線 Dとはどのような行為をいうのか。文中より十二字で抜き出し答えよ。

問八、文中の傍線 Eで「救出」という言葉を用いた理由を、文中の言葉を用いて四十字以内で説明せよ。